

明治大学博物館
企画展



近代の 柿右衛門と鍋島

2026年 4月7日 火 ~ 5月23日 土



1940～50年代頃の東京銀座で精陶社という陶器商が営業をしていました。同社は柿右衛門焼・鍋島焼を販売していましたが、廃業の後、ご子孫の手許にあったまとまった数の商品を当館で受贈しました。佐賀藩廃藩後の御用窯の継承、十二代酒井田柿右衛門が赤絵で有名な柿右衛門様式（濁手）を復興する以前、といった陶磁史のミッシングを埋めるそれらの品々は、近年高まりを見せつつある近代以降の陶磁史研究において将来の利活用が見込まれます。

会場：明治大学博物館 特別展示室（入場無料）

東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン地階

月～金 10:00～17:00（最終入場 16:30）

土 曜 10:00～16:00（最終入場 15:30）

休館日 日曜・祝日、4月21日（火） ※4月29日（水・祝）は開館します

TEL：03-3296-4448 <https://www.meiji.ac.jp/museum/>

写真 上：染付桜御所車文皿（鍋島焼） 下：染錦地紋画八角形菓子器（十二代酒井田柿右衛門・工房作品）



Mm
MEIJI UNIVERSITY
MUSEUM

明治大学博物館